

第21回 科学機器業界の実勢景況調査

2026年4月吉日

(一社)日本科学機器協会 経済・技術委員会

調査結果については集計がまとまり次第、機関誌「科学機器」に掲載いたしますと共に、監督官庁である経済産業省の担当課に業界資料として提出をさせていただき、業界の実態把握をお願いしております。アンケートの設問部は全13問に数カ所枝番がございます。入力には7～8分程度のお時間を想定しております。

ご所属の科学機器協会名を以下から1つ選択して○をつけてください。

東京科学機器協会	大阪科学機器協会	京都科学機器協会
東海科学機器協会	九州科学機器協会	北海道科学機器協会
東北科学機器協会	中四国科学機器協会	信越科学機器協会
北陸科学機器協会		

(1社で、複数の異なる地域の科学機器協会にご入会いただいている場合は、本社所在地がご加入の科学機器協会1つを選択してください。)

業務形態を以下から一つ選択して○をつけてください。

・製造 ・流通 ・その他

以下の問いにお答え下さい。(該当する番号を □にご記入ください)

問1. 我が国の景気動向について(現在から2027年3月にかけて)

- ① 急速に回復する
- ② 徐々に回復する
- ③ ほぼ現状で推移する
- ④ 徐々に悪化する
- ⑤ 急速に悪化する

問2. 貴社の業況について

2-1. 全体として

A. 直近の決算実績

- ① 非常に良い
- ② 良い
- ③ 横ばい
- ④ 悪い
- ⑤ 非常に悪い

B. 今期の予想

- ① 非常に良い
- ② 良い
- ③ 横ばい
- ④ 悪い
- ⑤ 非常に悪い

2-2. 直近の売上高

A. 直近の決算実績

- ① 増加
- ② 不変
- ③ 減少

B. 今期の予想

- ① 増加
- ② 不変
- ③ 減少

2-3. 製・商品在庫(適正な水準に対して)

A. 直近の決算実績

- ① 過剰
- ② 適正
- ③ 不足

B. 今期の予想

- ① 過剰
- ② 適正
- ③ 不足

2-4. 収益状況(前期と比較して)

A. 直近の決算実績

- ① 好転
- ② 不変
- ③ 悪化

B. 今期の予想

- ① 好転
- ② 不変
- ③ 悪化

問3. 既存の設備機器・事務設備

- ① 過剰
- ② 適正
- ③ 不足

問4. 設備投資計画について

4-1. 計画(対前年)

- ① 増額
- ② 同規模
- ③ 減額

4-2. 計画の内容(あてはまるものにチェック)

- ① 更新・維持・補修投資
- ② 能力増強投資(支店等の新設を含む)
- ③ 技術革新・研究開発投資
- ④ 新事業・新製品開発投資
- ⑤ 省エネルギー・省力化投資
- ⑥ 情報化投資
- ⑦ 環境関連投資

問5. 資金調達(対前年)

5-1. 自社の資金現況

- ① 改善
- ② 不変
- ③ 悪化

5-2. 売掛金回収条件

- ① 改善
- ② 不変
- ③ 悪化

5-3. 買掛金支払条件

- ① 改善
- ② 不変
- ③ 悪化

問6. 雇用現況及び採用計画

6-1. 貴社全体での従業員数(対前年に比べて)

- ① 増加
- ② 変わらない
- ③ 減少

6-2. 雇用現況

A. 事務・管理部門

- ① 過剰
- ② 充足(適正)
- ③ 不足
- ④ 該当なし

B. 営業部門

- ① 過剰
- ② 充足(適正)
- ③ 不足
- ④ 該当なし

C. 技術・開発部門

- ① 過剰
- ② 充足(適正)
- ③ 不足
- ④ 該当なし

D. 製造・メンテナンス部門

- ① 過剰
- ② 充足(適正)
- ③ 不足
- ④ 該当なし

E. IT・デジタル部門

- ① 過剰
- ② 充足(適正)
- ③ 不足
- ④ 該当なし

6-3. 今年度採用実績及び計画(部門別、中途採用含む)

A. 事務・管理部門

- ① 増加
- ② 同等
- ③ 減少
- ④ 採用なし

B. 営業部門

- ① 増加
- ② 同等
- ③ 減少
- ④ 採用なし

C. 技術・開発部門

- ① 増加
- ② 同等
- ③ 減少
- ④ 採用なし

D. 製造・メンテナンス部門

- ① 増加
- ② 同等
- ③ 減少
- ④ 採用なし

E. IT・デジタル部門

- ① 増加
- ② 同等
- ③ 減少
- ④ 採用なし

6-4. 今年度採用実績及び計画(雇用形態別、中途採用含む)

A. 正社員

- ① 増加
- ② 同等
- ③ 減少
- ④ 採用なし

B. 契約社員・派遣社員、パート・アルバイト

- ① 増加
- ② 同等
- ③ 減少
- ④ 採用なし

C. 外国人技能研修性・人材

- ① 増加
- ② 同等
- ③ 減少
- ④ 採用なし

D. 障がい者

- ① 増加
- ② 同等
- ③ 減少
- ④ 採用なし

6-5. 前年度の賃金・一時金改善の実績について

A. 平均賃金について

- ① 上げた
- ② 下げた
- ③ 変化なし(定昇・年功分のみ反映)

B. 一時金について

- ① 月数を上げた
- ② 月数を下げた
- ③ 変化なし(定昇・年功分のみ反映)

6-6. 人材確保の手段について(重要3項目以内を選択)

- ① 給与水準の向上
- ② 福利厚生の上
- ③ 採用時条件の緩和(経験・年齢・学歴等)
- ④ 採用媒体・広告の強化
- ⑤ 外部採用サービスの活用(人材紹介等)
- ⑥ リファラル採用の導入・強化
- ⑦ 働き方制度の改善(柔軟勤務・残業削減等)
- ⑧ 教育・研修制度の強化
- ⑨ 定着率向上施策(評価制度・キャリア制度等)
- ⑩ 学校・教育機関との連携強化
- ⑪ 採用広報・企業認知向上
- ⑫ 特に実施していない

問7. 当面の経営重点課題(重要7項目以内を選択)

7-1. 企業運営、販売、マーケティング(重要5項目以内を選択)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| ① 過当競争 | ⑪ 財務体質の改善 |
| ② 受注・売上げ不振 | ⑫ 為替変動への対応 |
| ③ 取引条件の見直し(取適法の対応) | ⑬ 金利負担の軽減化 |
| ④ 原材(燃)料高への対応 | ⑭ 国内営業・マーケティングの強化 |
| ⑤ 流通経費の合理化 | ⑮ 海外営業・マーケティングの強化 |
| ⑥ 環境問題への対応 | ⑯ ネット販売への対応 |
| ⑦ 生産性向上への取組み | ⑰ メンテサービス体制の強化 |
| ⑧ 情報化体制の充実・強化 | ⑱ 研究開発体制の充実・強化 |
| ⑨ 米中貿易摩擦やサプライチェーンの影響 | ⑲ 5G、AI、IoT、ビッグデータ |
| ⑩ 部材の入手困難への対応 | ⑳ 米国などの関税対策 |

--	--	--	--	--

7-2. 雇用・人材育成(重要2項目以内を選択)

- | | |
|------------------|---------------------|
| ① 働き方改革への対応 | ⑤ 事業継承(人材育成、M&A) |
| ② 雇用調整・定年延長 | ⑥ 求人難対策(外国人材活用検討含む) |
| ③ 人件費抑制・削減 | ⑦ 技能労働力不足 |
| ④ 技術力不足(社員教育の拡充) | ⑧ 同一労働同一賃金への対応 |

--	--

問8. 期待する主な施策(重要3項目以内を選択)

- | | |
|------------------------|--------------|
| ① 公共投資の拡大 | ⑦ 規制緩和の推進 |
| ② 行財政改革の実施 | ⑧ 基礎研究予算の増額 |
| ③ 政策減税の実施・拡充(研究開発税制含む) | ⑨ 開発補助金の充実 |
| ④ 所得減税の実施 | ⑩ 理科教育の充実 |
| ⑤ 法人税の一段の引下げ | ⑪ 科研費増額 |
| ⑥ 為替相場の安定 | ⑫ 設備投資補助金の拡充 |

--	--	--

問9. リスク管理についての取り組みについて

11-1. リスク管理の対応又は今後対応する内容をお知らせ下さい(重要4項目以内を選択)

- | | |
|--------------------------|----------------|
| ① コンプライアンス(法令遵守)体制 | ⑨ 輸出入管理 |
| ② BCP(事業継続計画) | ⑩ 自然災害リスク体制 |
| ③ CSR(企業の社会的責任) | ⑪ 与信管理 |
| ④ セクハラ・パワハラ等の対策 | ⑫ コンピュータウイルス対策 |
| ⑤ 社内情報漏洩対策 | ⑬ 監査制度 |
| ⑥ 人材流出リスク防止対策 | ⑭ 社内通報制度 |
| ⑦ CS(顧客満足度向上) | |
| ⑧ 社員の健康管理対策(メンタルヘルス対策含む) | |

--	--	--	--

問10. 研究開発税制や、国や地方等の補助金の活用について

10-1. 研究開発税制について

- | |
|-------------|
| ① 活用している |
| ② 今後活用したい |
| ③ 活用する予定はない |
| ④ 知らない |

--

10-2. 国や地方等の補助金の活用状況

- | |
|-----------|
| ① 活用している |
| ② 今後活用したい |

- ③ 活用する予定はない
- ④ 知らない

問11. WEB講習会で期待する項目(重要2項目以内を選択)

- ① 新技術(量子・バイオなど)
- ② 基礎技術(分析技術・真空技術など)
- ③ 国策の方針(経産省・文科省・中小企業庁)
- ④ 機器の基礎教育(科学機器入門など)
- ⑤ 経営関係(5S・AIなど)
- ⑥ 法規関係(PSE・貿易管理令など)
- ⑦ 補助金関係(設備投資補助金など)
- ⑧ 大学教授(化学の峰々)や著名人の講演

問12. 昨今の世界情勢の影響

12-1. 固定化した円安の影響

- ① 大いにあった
- ② あった
- ③ なかった

12-2. 米国通商政策による米国関税、及び、日本企業の米国等進出などによる影響

- ① 大いにあった
- ② あった
- ③ なかった

12-3. 中国のレアアース輸出制限

- ① 大いにあった
- ② あった
- ③ なかった

問13. 就業環境の変化、新技術の導入

13-1. 生成AIを活用した営業効率化

- ① 導入済み
- ② 導入予定
- ③ 未定

13-2. リモートワークの定着度合いと効率維持

- ① 定着しており業務効率も維持できている
- ② 定着しているが業務効率が低下している
- ③ 定着していない・実施していない

コメント記入欄

本調査についてのご意見や、政策に関するコメントがあればお書きください。